TOSHIBA

東芝デジタルネットワークビデオレコーダー

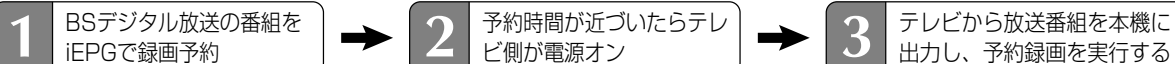
「DTV連動予約」取扱説明書

本取扱説明書はパソコンと接続して使うネットdeナビ機能の中の「DTV連動予約」について説明しています。

● 意匠、仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
● 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは実際とは異なる場合があります。

DTV連動予約機能を使う

東芝製デジタルテレビ(D4000／L4000／P4000シリーズ)と本機それぞれのEther(イーサ)／LAN端子を、インターネット接続が可能なルーターに接続することで、テレビに内蔵されているチューナーを使って、BSデジタル放送の録画予約を行うことができます。

1 BSデジタル放送の番組をiEPGで録画予約 ➔ 2 予約時間が近づいたらテレビ側が電源オン 3 テレビから放送番組を本機に出力し、予約録画を実行する

• iEPGはソニー株式会社が提唱しているインターネットでの録画予約方式です。

■ DTV連動予約機能を使うまでに…

本機とテレビ、パソコンを接続する

• 本取扱説明書の３ページをご覧ください。

▼

テレビのソフトウェアバージョンの確認と設定

• 本取扱説明書の４ページをご覧ください。

▼

テレビ側の連動予約設定

• 本取扱説明書の５ページをご覧ください。

▼

本機の連動予約設定

• 本取扱説明書の６ページをご覧ください。

▼

本機のチャンネル名設定

• 本取扱説明書の７ページをご覧ください。

▼

DTV 連動予約機能が使えるようになりました。

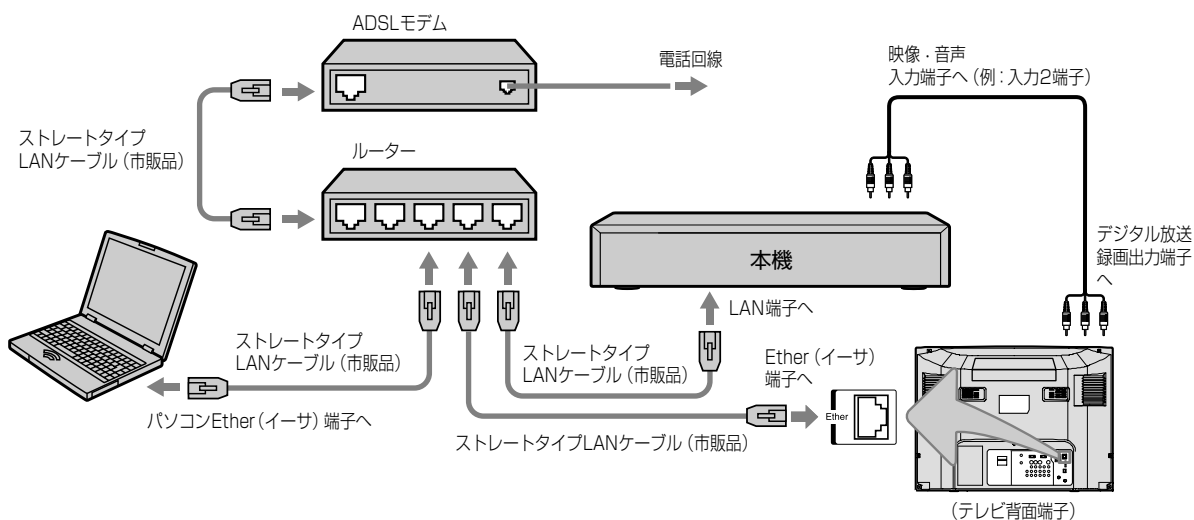
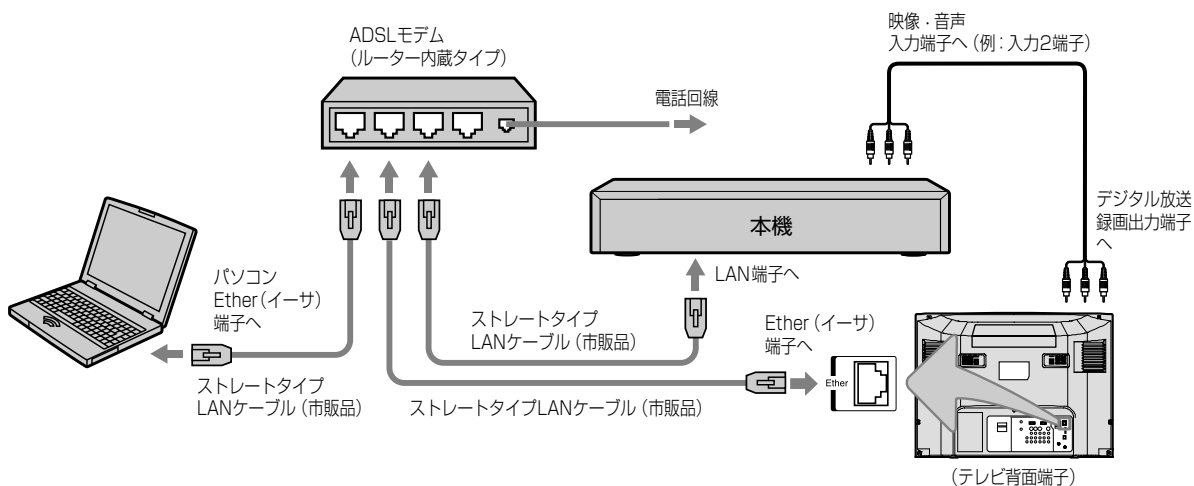
お知らせ

• 本機とテレビ側の時刻を正しく合わせてください。テレビは放送波から自動的に時刻を合わせます。本機との時刻差は15秒以内をお勧めします。時刻差が10分をこえると、この機能は正しく働きません。

■ 本機とデジタルテレビ、パソコンを接続する

●下記の例のように、必ずルーターを通して接続してください。

- **ここではイーサネット通信(ADSLなど)ができる環境であることを前提とした説明になっています。**
  - ・ご使用のモデムやルーターなどの取扱説明書もご覧ください。
  - ・イーサネット通信ができる環境をお持ちでない場合は、導入や契約などについてお買い上げの販売店、または ADSL などの回線事業者にご相談ください。
- **本機では、ルーターやルーター内蔵ADSLモデムなどの設定はできません。**
  ルーターやルーター内蔵 ADSL モデムなどによっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。

例1：ルーター機能がないADSLモデムを使用している場合

例2：ルーター機能のあるADSLモデムを使用している場合

※４ページの「デジタルテレビのソフトウェアバージョンの確認と設定」に進んでください。

■ デジタルテレビのソフトウェアバージョンの確認と設定

テレビ側のソフトウェアが、DTV連動予約機能に対応しているかを確認した上で、機能を有効にする設定をします。

1 ソフトウェアバージョンを表示する

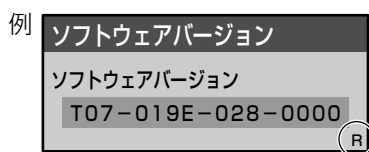
1）「メニュー」から「設定メニュー」を選び「決定」ボタンを押す

2）「その他」の中の「ソフトウェアのダウンロード」を選び「決定」ボタンを押す

3）「ソフトウェアバージョン」を選び「決定」ボタンを押す

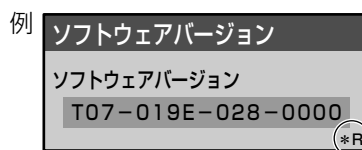
ソフトウェアのバージョンが表示されます。

例

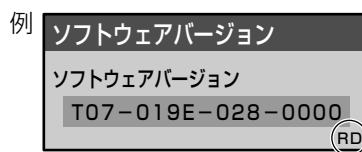
ソフトウェアバージョン
ソフトウェアバージョン
T07−019E−028−0000
R

ソフトウェアのバージョンがT07−＊＊＊＊−＊＊＊−＊＊＊＊の場合で、「R」が表示されていれば、DTV連動予約機能に対応しているソフトウェアです。「R」の表示がないときには、ソフトウェアのダウンロードを行なってください。（ダウンロードの方法は、テレビの取扱説明書の「バージョンアップするには」をご覧ください。）

ソフトウェアのバージョンがT08−＊＊＊＊−＊＊＊−＊＊＊＊以降の場合は、テレビ側の取扱説明書の手順に従ってください。

2 R表示されている状態で、「画面表示」ボタンを約10秒間押し続ける

例

「＊R」に表示が変わります。
DTV連動予約機能の有効／無効を切り換えるモードになります。

3 方向ボタン（▲）で表示を「RD」に変え、「決定」ボタンを押す

例

RD：DTV連動予約機能に対応したソフトウェアであり、この機能が働く状態です。
R：DTV連動予約機能に対応したソフトウェアですが、この機能が働かない状態です。

※ 5ページの「テレビ側の連動予約設定」に進んでください。

■ テレビ側のイーサネットの設定について

テレビ側でイーサネットの設定をする必要があります。ご購入時にはIPアドレス自動取得をする設定になっています。通常ではこの設定のままで変更する必要はありませんが、自動的にIPアドレスが取得できないネットワーク環境の場合には、手動で設定してください。手動で設定する項目は、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイです。
手動で設定を変更するには、以下の手順を行なってください。（テレビによっては設定方法が違います。テレビ側の取扱説明書をご覧ください。）

1）「メニュー」ボタンを押し、「設定メニュー」を選び、「決定」ボタンを押す
2）「初期設定」を選び、次に「通信設定」を選んで、「決定」ボタンを押す
3）「通信接続設定」を選び、「決定」ボタンを押す
4）「LAN設定」を選び、「決定」ボタンを押す
5）「決定」ボタンを押す
6）「手動設定」を選び、「決定」ボタンを押したあと、画面の操作ガイドに従って設定をする

■ テレビ側の連動予約設定

DTV連動予約機能を使うために、テレビ側の設定をします。「識別名設定」と「ネットdeナビ制御」の2つを設定します。この設定は、東芝製デジタルテレビD4000シリーズをお使いの場合に必要です。D4000以外のシリーズ(L4000、P4000など)をお使いの場合は、テレビ側の取扱説明書の手順で設定を済ませたのち、6ページの「本機の連動予約設定」に進んでください。

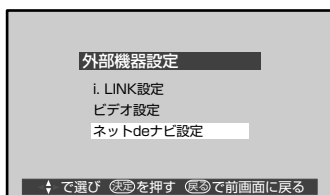
1 「ネットdeナビ設定」画面を表示する

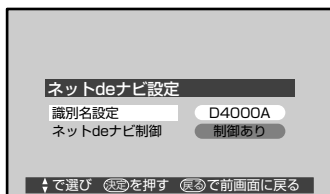
詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

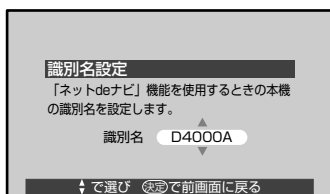
1)「メニュー」から「設定メニュー」を選び「決定」ボタンを押す

2)「初期設定」の中の「外部機器設定」を選び「決定」ボタンを押す

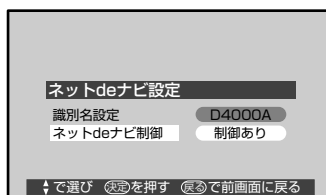
3)「ネットdeナビ設定」を選び「決定」ボタンを押す

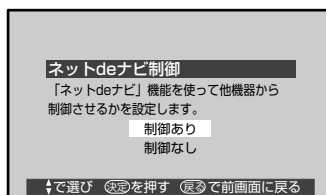
例

2 方向ボタン(▲/▼)で「識別名設定」を選び、「決定」ボタンを押す

例

3 方向ボタン(▲/▼)でテレビの識別名を選び、「決定」ボタンを押す

例

通常はお買い上げ時の設定で変更する必要はありません。イーサ端子を使って複数台のテレビ(D4000シリーズ)を本機に接続する場合に、変更します。

4 方向ボタン(▲/▼)で「ネットdeナビ制御」を選び、「決定」ボタンを押す

例

5 方向ボタン(▲/▼)で「制御あり」を選び、「決定」ボタンを押す

例

「制御あり」：DTV連動予約機能が働きます。
「制御なし」：DTV連動予約機能が働きません。

6 「終了」ボタンを押す

通常画面に戻ります。

※ 6 ページの「本機の連動予約設定」に進んでください。

■ 本機の連動予約設定

DTV連動予約機能を使うために、本機側の設定をします。

1 ネットdeナビを起動する

例

取扱説明書(操作編)「ネットdeナビ」の章をご覧になり、ネットdeナビ画面を起動します。

2 「本体設定」をクリックし、「外部機器連動設定」を設定する

例

- **連動ライン入力番号**
  本機とテレビを接続しているとき(本取扱説明書3ページ)の本機側の入力端子名を選択します。(例：連動する(ライン入力2))

- **連動ホスト名**
  本取扱説明書の5ページで設定したテレビ側の識別名を入力します。

3 ネットdeナビ画面上の「登録」をクリックする

「登録」ボタンは「本体設定」画面を上にスクロールして戻した右上部にあります。
クリックすると、設定した内容が登録されます。

※ 7 ページの「本機のチャンネル名設定」に進んでください。

■本機のチャンネル名設定

DTV連動予約機能を使うために、本機側のチャンネル名設定をします。

1 メインメニューの「本体設定」をクリックする

「本体設定画面」が表示されます。

2 「本体設定画面」で「チャンネル名設定」をクリックする

例

3 「iEPG／番組ナビ　チャンネル名設定」画面が表示されます

例

- BSアナログ放送とBSデジタル放送では、BSアナログ放送が優先で予約されます。これらの放送をBSデジタル放送で予約する場合は、BSアナログ放送を登録解除する必要があります。例えば、BSアナログ放送の「NHK衛星第一」を以下の手順で登録解除してください。

  1)「NHK衛星第一」(BS-A)の削除をクリックする

  2)画面の上の登録をクリックする

  - 必要であれば、他の登録内容も同様に解除します。

（つづく）

4 ネットdeナビ画面の他に、もう1つのウィンドウを開く

(http://www.rd-style.com/user/index_j.htm)

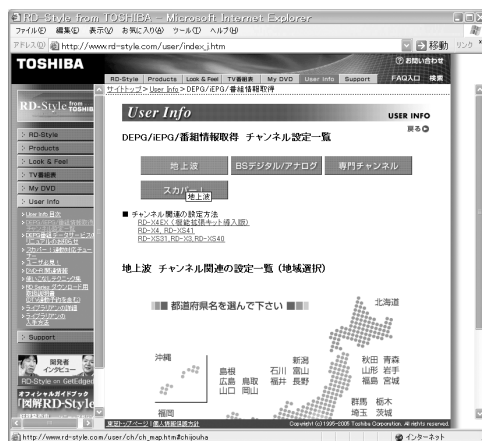
例

上記アドレスを入力し、パソコンのENTERボタンを押します。
「User Info」のページが表示されます。

お知らせ

- 画面のデザインは予告なく変更される場合があります。

5 「DEPG/iEPG/番組情報取得　チャンネル一覧」をクリックする

例

放送の種類を選ぶ画面が表示されます。

6 放送の種類をクリックする

ここの例では、「BSデジタル／アナログ」をクリックします。

7 必要なチャンネル名とそのCHコードを入手する

例

	チャンネル名	設定入力用チャンネル名	CHコード
BSアナログ	NHK衛星第一	NHK衛星第一	B000-007
	NHK衛星第二	NHK衛星第二	B000-011
	WOWOW	WOWOW	B000-005
BSデジタル	NHK衛星第一		D000-101
	NHK衛星第二		D000-102
	NHKハイビジョン	NHKハイビジョン	D000-103
	BS日テレ	BS日テレ	D000-141
	BS朝日	BS朝日	D000-151
	BS朝日(S2)	BS朝日(S2)	D000-152
	BS朝日(S3)	BS朝日(S3)	D000-153
	BS－i	BS－i	D000-161
	BS－i(S2)	BS－i(S2)	D000-162
	BS－i(S3)	BS－i(S3)	D000-163
	BSジャパン	BSジャパン	D000-171
	BSフジ	BSフジ	D000-181

文字列を選択してコピーします。

例：「BSデジタル」のチャンネル名「NHK衛星第一」をコピーする

8 ネットdeナビ画面に戻り、各設定を行う

例

1)本例で登録番号「13」を選択します。

2)テレビを接続している本機側の入力端子名を選択します。
本取扱説明書6ページの手順2の「連動ライン入力番号」で設定した内容と同じ内容の設定になります。

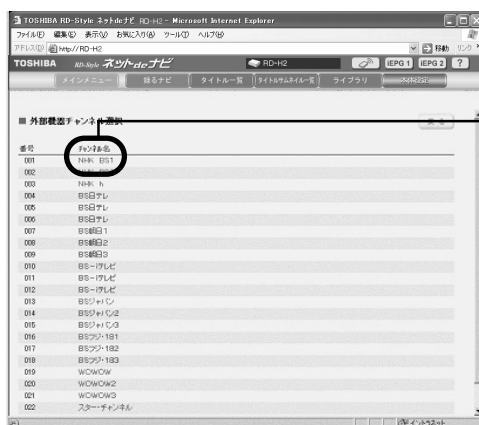
3)本例の、手順7でコピーした「NHK衛星第一」を貼り付けます。

4)手順7の画面に戻り、DEPG CHコード(例：「D000-101」)をコピーして、ここに貼りつけます。

9 「更新」をクリックする

外部機器チャンネル選択に必要なチャンネル一覧の取得が始まります。

10 手順8で設定した「チャンネル名」に対応する外部機器チャンネルを選択し、クリックする

例

本例では、「NHK衛星第一」に対応する外部機器チャンネル「NHK BS1」を選択し、クリックします。
手順8で入力したチャンネル名と同一のチャンネルを選択してください。

11 チャンネル名設定画面で、「登録」をクリックする

12 「正常に登録できました。」と表示されたら、「OK」をクリックする

手順8の画面に戻ります。
手順4～12を繰り返し行ない、「NHK衛星第二」「NHKハイビジョン」「BS日テレ」「BS朝日」「BS-i」「BSジャパン」「BSフジ」「WOWOW」「WOWOW2」「WOWOW3」「スターチャンネルBS」も同様に設定します。

お知らせ

これら連動設定を行なったチャンネル名には「＊」がつきます。「＊」がついたチャンネル名は、一部文字列の最後が表示されないことがありますが、動作には影響ありません。

＊「DTV 連動予約」機能のための設定が終わりました。
11 ページの「DTV 連動予約機能を使って予約する」を行なってください。

DTV 連動予約機能を使って予約する

1 ネットdeナビ画面の「iEPG1」アイコンをクリックする

例

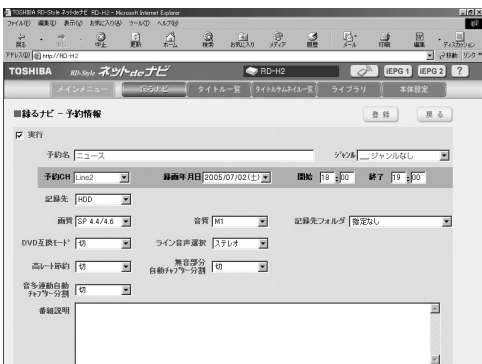
「地上波／BS／BSデジタル」をクリックします。

・ネットdeナビの本体設定でiEPGがテレビサーフに設定されていればテレビサーフのサイトが表示されます。

2 番組一覧が表示されたら、予約したい番組の「iEPG」をクリックする

・BSデジタル放送番組の「iEPG」をクリックします。

3 「予約情報」が表示されますので、確認後「登録」アイコンをクリックする

例

・「正常に登録できました。」と表示されたら、「OK」をクリックしてください。

予約が完了しました。

■ 連動予約実行中に録画を中止するには

本機側とテレビ側の両方を中止する必要があります。以下の方法で中止してください。

- 本機側を中止する場合は、画面表示に従って、本体の「停止」ボタンを2回押します。
- テレビ側を中止する場合は、画面表示に従って、リモコンの「終了」ボタンを2回押します。

DTV連動予約機能のお知らせ

- 連動予約ができるのは、BSデジタルのテレビ放送だけです。以下の放送などでは連動予約機能が働きません。
  －BSデジタルのデータ放送やラジオ放送
  －地上デジタル放送
  －BSアナログ放送
  －地上アナログ放送
  －110度CSデジタル放送
- 本機とテレビは主電源が入った状態（スタンバイ状態）にしておいてください。主電源を切ると、この機能は働きません。ただし、パソコンを起動しておく必要はありません。
- 録画予約中には、「録るナビ」で予約内容の変更ができます。ただし、チャンネルを変更する場合には、いったん予約を解除してから予約を入れ直してください。
- テレビで視聴予約した番組と連動予約の番組が一部の時間でも重なった場合、本機の連動予約が優先されます。
- テレビでD-VHSなどにデジタル録画予約した番組と本機への連動予約の番組が一部の時間でも重なった場合、テレビで登録した録画予約が優先されます。
- テレビでアナログ録画予約した番組と本機への連動予約の番組が一部の時間でも重なった場合、テレビで登録した録画予約が優先されます。

テレビ側からのお知らせ

■ネット de ナビ機能を使った録画予約の動作について

● はじめに

以下に記載された操作や表示内容は、D4000／L4000／P4000 シリーズについて書かれたものです。

・テレビ側では、ダウンロード実行中にはビデオレコーダーからの制御を受け付けません。
よって、ネット de ナビ機能を使って録画予約を行なう際には、以下のようにしてください。
・「自動ダウンロード」の設定を「ダウンロードしない」にする
・任意ダウンロード予約の時刻と連動予約の時刻とが重ならないようにする

● DTV連動予約の開始時について

・BS デジタル放送をご覧の場合は、録画予約番組の放送時間近くになると、テレビ画面にメッセージを表示してお知らせします。
連動予約を中止する場合は、終了ボタンを押してください。
・連動予約の時間になると自動的にチャンネルが切り換わり、予約した番組が選ばれます。

● DTV連動予約実行中について

・地上放送や CATV 放送の選局はできます。ほかの操作はできないものがあります。
・連動予約中は、テレビ前面の「録画中」（青）表示が点灯します。

予約録画を中止したい場合

① 終了ボタンを押す

・［「ネット de ナビ」で録画実行中です。もう一度 終了 を押すと録画を中止します。］が表示されます。

② 上記のメッセージが表示されている間に、もう一度、終了ボタンを押す

・予約録画を中止します。
※テレビ側の操作で録画を中止した場合、テレビ側の動作は中止されますが、ビデオレコーダー側の録画動作は中止されません。ビデオレコーダー側でも録画の中止をしてください。

予約録画実行中に操作ボタンを押したとき

・操作可能なボタンを押したときは、押したボタンの動作が実行され、録画予約もそのまま続行されます。
・操作できないボタンを押したときは、［「ネットdeナビ」で＊＊＊を録画中です。終了 を押すと録画を中止します。］が表示されます。
※予約録画動作中にリモコンで電源の入／待機を切り換えると、録画中の信号にノイズがはいる場合があります。

● DTV 連動予約の終了時について

・通常どおり使用できます。
・テレビ前面の「録画中」（青）表示が消えます。ほかにテレビで設定した録画予約がある場合は「録画予約」（赤）表示は点灯したままです。

■テレビ側での動作・操作上のご注意

- テレビ側で「電源待機消費電力」を設定している場合、その設定時刻に電源を「待機」にしていると、本機からの制御を受け付けません。
- ペイ・パー・ビュー番組の購入は行われません。
- 視聴年齢制限は解除されません。
- 二重音声の番組では、テレビ側で選択した音声が記録(録音)されます。
- 映像、音声で複数の信号がある番組の場合は、基本の信号だけがテレビ側から出力されます。
- テレビの主電源が「切」の場合、本機からの連動予約の制御は受け付けられません。
- テレビ側がダウンロード実行中の場合、本機からの連動予約の制御は受け付けられません。
- テレビ側がライブラリでコピーを実行中の場合、本機からの連動予約の制御は受け付けられません。
- テレビ側が録画予約実行中の場合、本機からの連動予約の制御は受け付けられません。
- テレビ側が一発録画実行中の場合、本機からの連動予約の制御は受け付けられません。
- テレビ側での録画予約と時間が重なった場合は、テレビ側の録画予約が優先されます。このとき、本機の録画は継続しています。中止するには本機側で中止の操作をしてください。
- テレビ側での「ネットdeナビ制御」設定が「制御なし」の場合は、本機からの連動予約の制御は受け付けられません。制御したい場合は「ネットdeナビ制御」を「制御あり」に設定してください。
- 連動予約で録画中には、テレビ側では地上アナログ放送やCATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
- 本機からの連動予約実行前に、テレビの電源が「待機」だった場合、連動予約が開始されても、画面には映像や音声は出ませんが、録画用の映像は出力されます。また、連動予約終了後には「待機」に戻ります。
- 本機からの連動予約実行中は、テレビ側でご案内チャンネルに切り換えることはできません。
- 本機からの連動予約実行中は、テレビ側で緊急警報放送には対応しません。
- 番組の途中で受信障害になったときや非契約の場合、無信号状態で録画が行われます。
- 本機からの連動予約実行中に、雨などの影響で電波が弱くなり、テレビ側で通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 本機からの連動予約実行中は、テレビ側の視聴予約の開始時刻になっても連動録画を継続します。